



御堂筋緩速車線歩行者優先化社会実験

御堂筋チャレンジ

実施結果・概要

平成30年5月
モデル区間社会実験企画・制作推進合同チーム

御堂筋80周年を契機に魅力ある滞在空間を検証する

Mido-suji CHALLENGE

御堂筋チャレンジ

2017/11/5 (Sun) ▶ 11/20 (Mon)

大阪のメインストリート、御堂筋。
完成から80周年、難波駅前のモデル区間では歩道も広げられ、新しい
みちづくりが着々と進められています。御堂筋が、世界にとどろくメイン
ストリートとなる未来のスガタを想像する16日間。
生まれ変わろうとしている御堂筋を体感してください。



御堂筋の未来のスガタをつくる、2週間の社会実験

御堂筋モデル整備区間約200mで、16日間実施



実施スケジュール		11/5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
		Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon
1	御堂筋+ カフェストリート	→					→	→	→					→			
2	御堂筋+ マーケット						→	→	→								
3	御堂筋+ ストリートライブ	→						→	→						→		
	歩車分離化 ストリートの潜在空間化 シェアサイクル	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	御堂筋イルミネーション							→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

通行空間から滞在空間へシフトするためのしくみを試す

人びとが集い、憩う
居心地の良い空間へ

歩行者が安全、快適に
歩けるストリートへ

上質な環境を維持するための
運営のしくみづくり

歩道拡張・歩車分離



ファニチャー



ストリートマーケット



ストリート案内板・広告



環境演出



カフェストリート



ストリートライブ



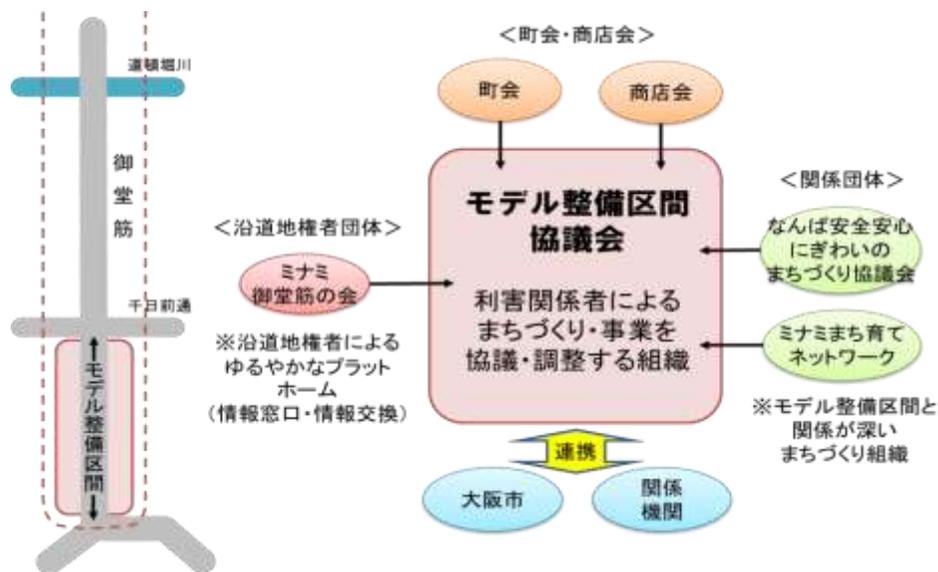
シェアサイクル

モデル区間整備を契機に地元協議会を設置

- 平成26年10月2日に、「御堂筋の道路空間再編について(案)」が発表され、橋下市長が千日前通以南でのモデル整備を表明
- 平成27年2月17日に、千日前通以南のモデル整備(東側街区)の実施が発表



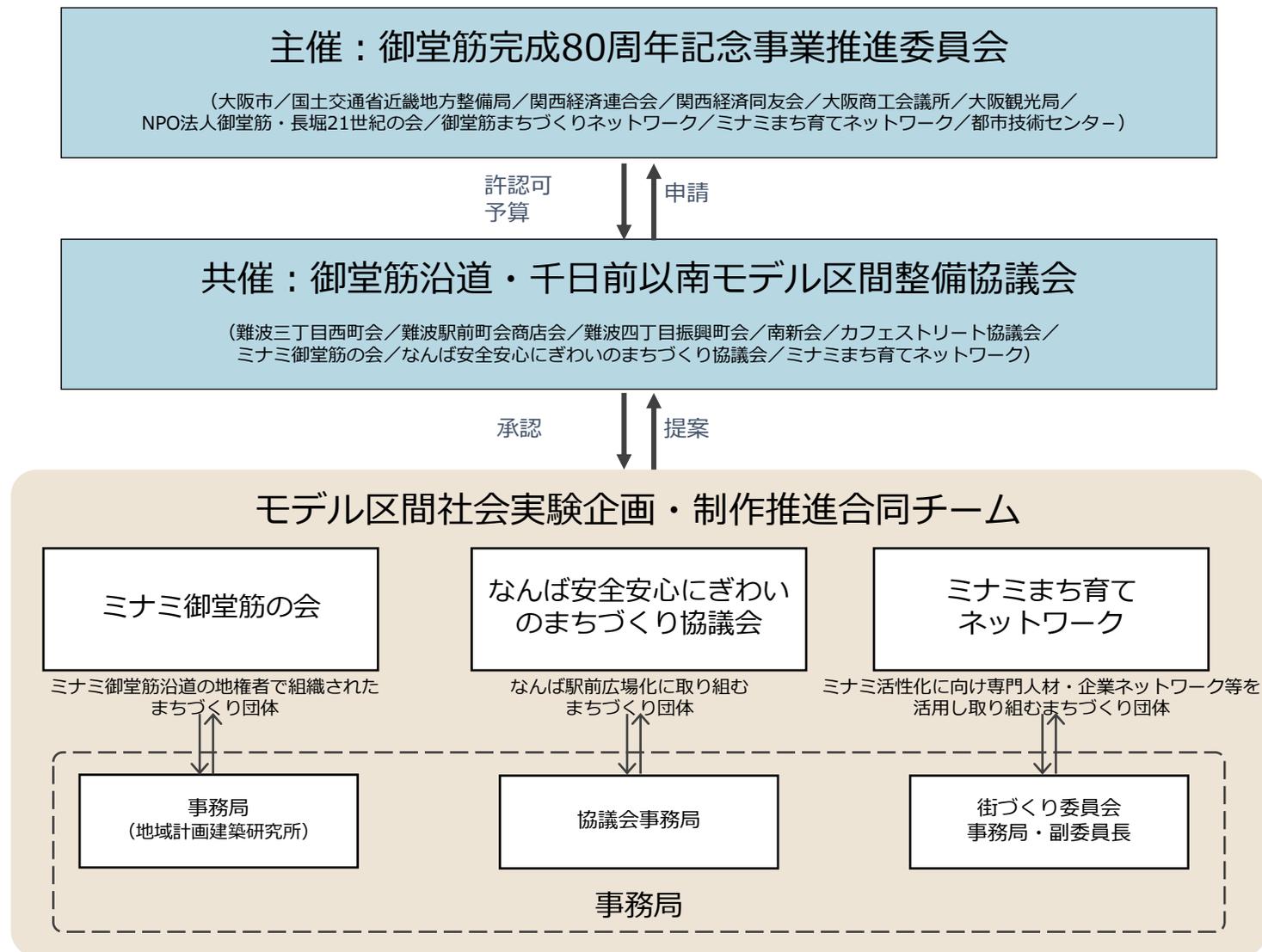
- モデル整備を官民連携で実現していくため、町会・商店会と沿道地権者団体、関係団体からなる「御堂筋沿道・千日前通以南モデル区間整備協議会」を組織



- モデル整備区間の供用開始に向け、「**放置自転車のない安全で安心な道づくり**」に向けて、官民連携で駐輪禁止の徹底など啓発活動、あわせて、関係者による宣言等、モデル整備区間のアピールを行う取り組みを実施

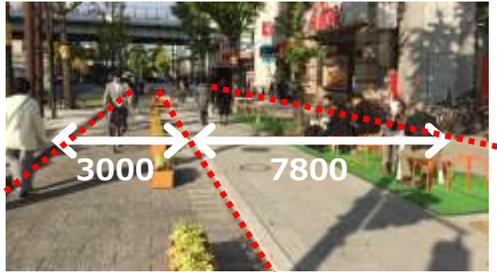


今回の社会実験も、官民協働による実施体制を構築

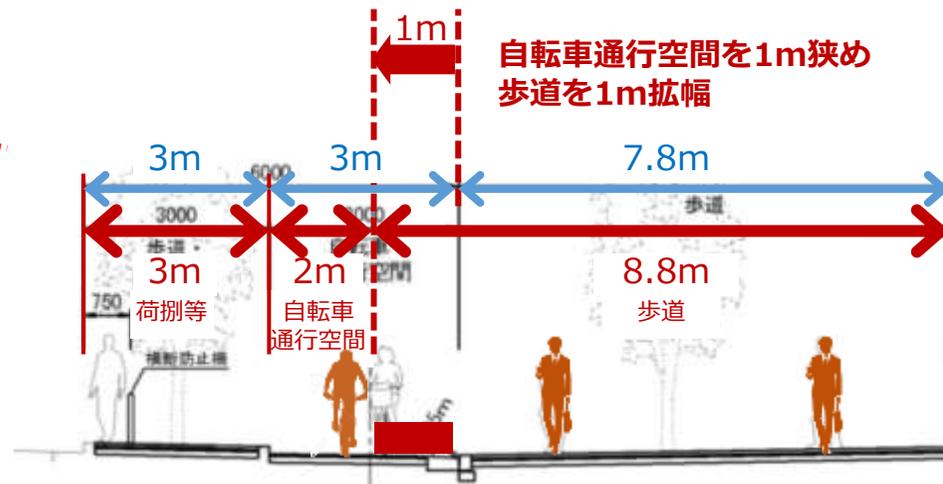


歩道空間を拡幅し、自転車と歩行者を明確に分離

実験前

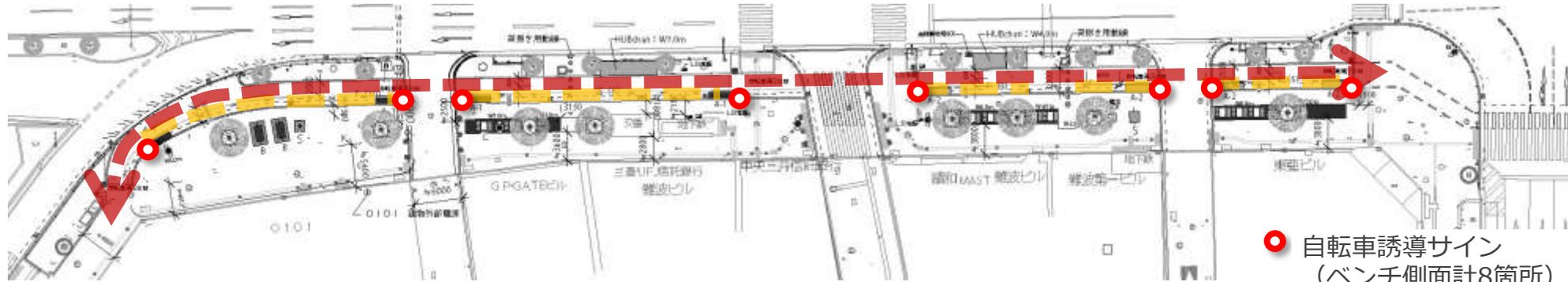


実験中



歩道と自転車通行空間の境界にベンチ及びプランターを設置

ベンチの側面には自転車用のサインを設置

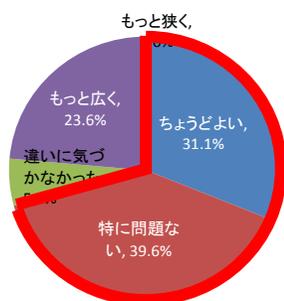


● 自転車誘導サイン (ベンチ側面計8箇所)

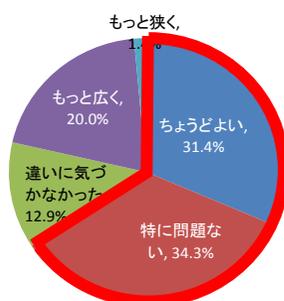
自転車通行者アンケート調査結果

Q3：自転車通行空間の幅を少し狭めていますがいかがでしょうか？

【平日】 N=106



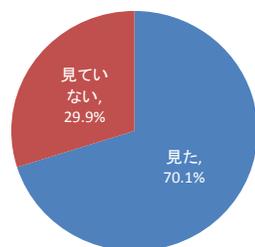
【休日】 N=70



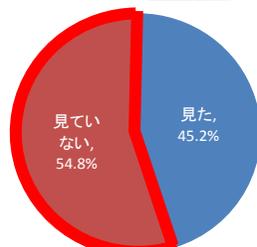
平休ともに「ちょうど良い」が3割、「特に問題ない」が4割弱。

Q5：自転車道に関するサインは目にしましたか？

今回設置サイン



既設サイン

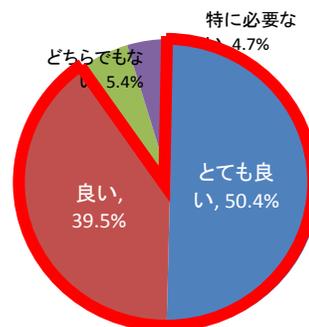


既存サインは視認性が悪い。視認性を高める改善が必要。

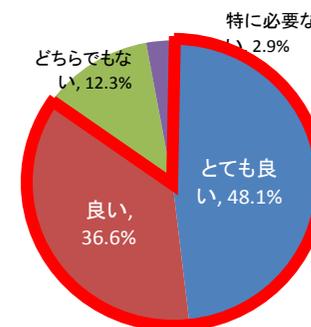
歩行者アンケート調査結果

Q2：自転車道を狭め歩行者空間を充実させることをどう思いますか？

【平日】 N=129



【休日】 N=248



平休とも「とても良い」「良い」をあわせて8割以上。

自転車通行空間の遵守率

実験前 → 実験中

平日:69.7% → 64.4%

休日:62.4% → 81.1%

実験前 → 実験中

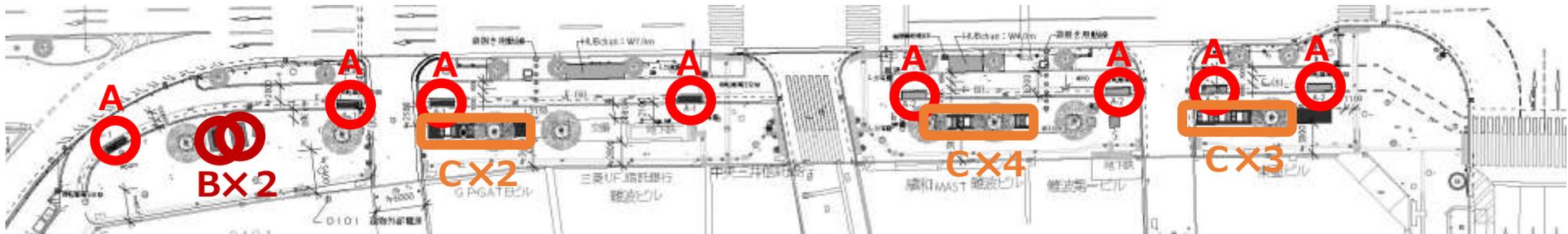
平日:68.5% → 80.7%

休日:88.4% → 85.9%



2m幅員は問題なし。明快なサインと歩車分離で歩道走行を阻止。





ファニチャーA (固定式)

歩道に平行な向きに設置
自転車道と歩道の境界の役割
南半分は座面に人工芝を敷く

ファニチャーB (固定式)

四周どの方向でも座れる
丸井前の広いスペースに設置
座面には人工芝を敷く

ファニチャーC (可動式)

イチョウ並木間に設置
イベント時に撤去可能
毎日設置と撤去を繰り返す

ファニチャーB（固定式）

四周どの方向でも座れる
丸井前の広いスペースに設置
座面には人工芝を敷く



ファニチャーA（固定式）

歩道に平行な向きに設置
自転車道と歩道の境界の役割
南半分は座面に人工芝を敷く



ファニチャーC（可動式）

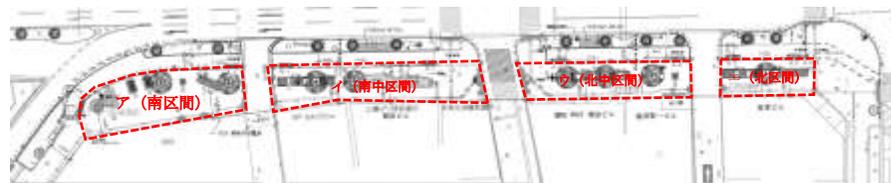
イチョウ並木の間設置
イベント時に撤去可能
毎日設置と撤去を繰り返す



滞在状況の調査（アクティビティ調査）

社会実験期間中 平日：11/7（火）／休日：11/12（日）
 社会実験期間外 平日：11/28（火）／休日：11/26（日）
 30分ごとに滞留者※の行動、滞留時間を観察シートに記録する調査
 ※通行人を除き、一定時間路上に滞留している人（信号待ちは含まない）
 （例：ベンチに座っている、会話している、スマホを操作しているなど）

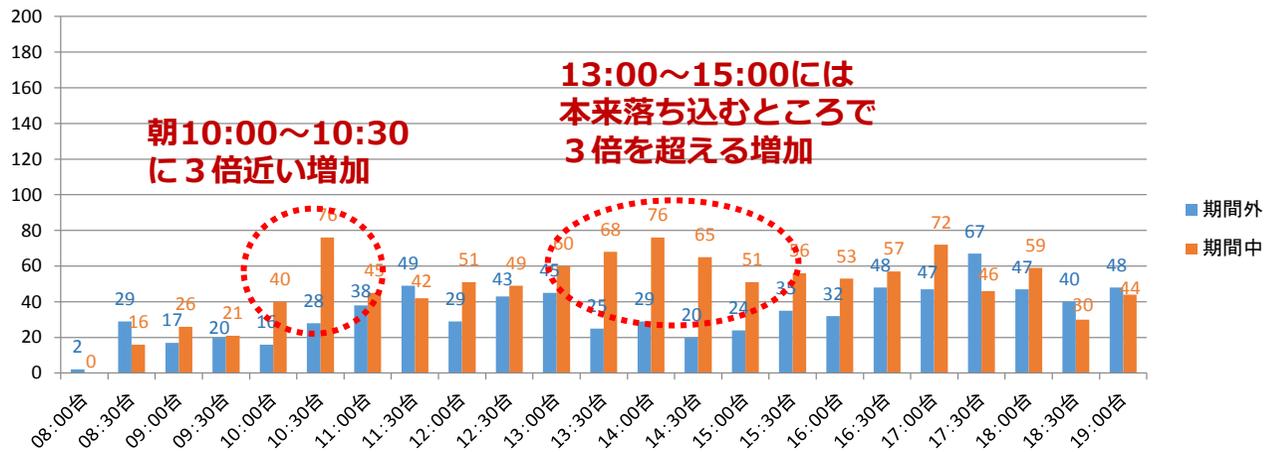
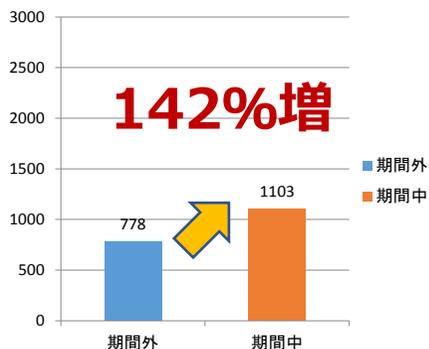
調査範囲



①滞留者数

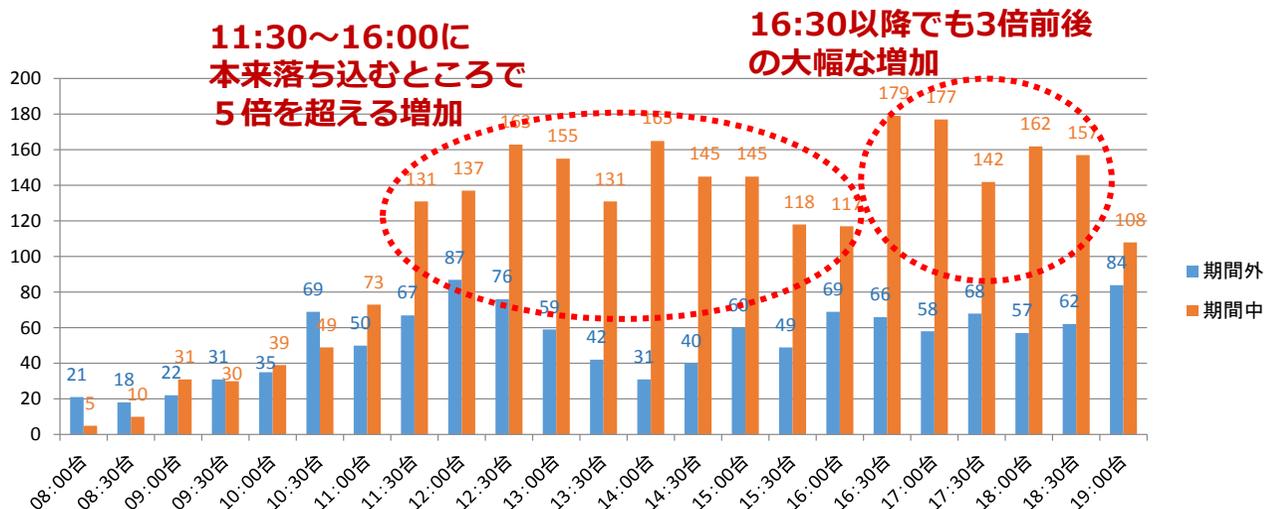
【平日】

8時から19時半の滞留者数の合計



【休日】

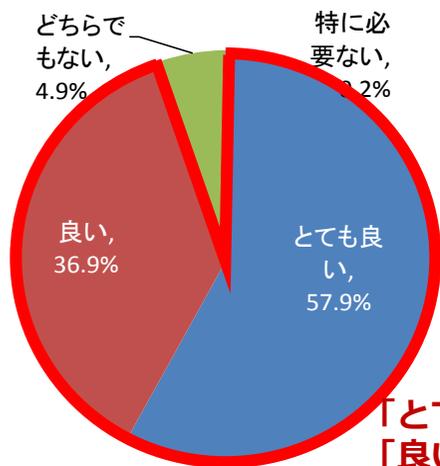
8時から19時半の滞留者数の合計



歩行者アンケート調査結果

Q1：社会実験での滞在空間の評価

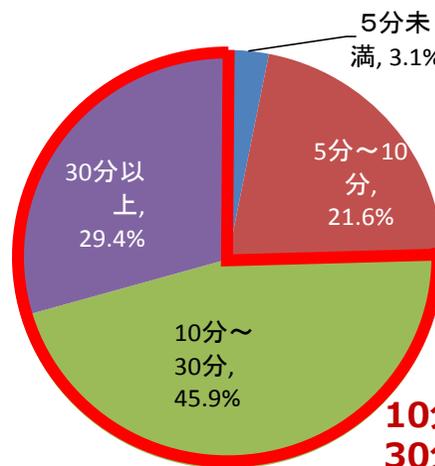
【N=406】



「とても良い」
「良い」で9割超

Q2：滞留時間

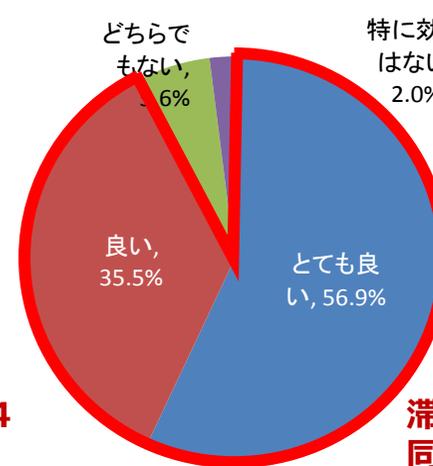
【N=357】



10分以滞在が3/4
30分以上も3割

Q3：放置自転車削減の取り組みへの評価

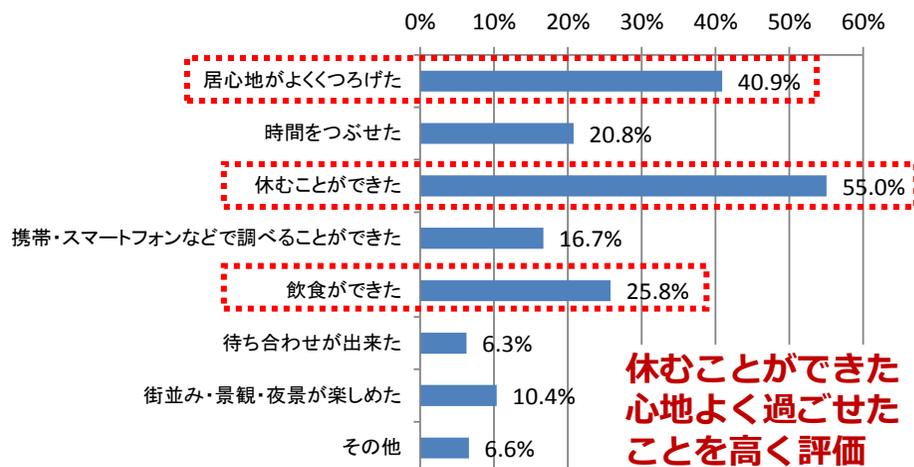
【N=408】



滞在空間と
同様高評価

Q4：ファニチャーの効果について（利用者のみ）

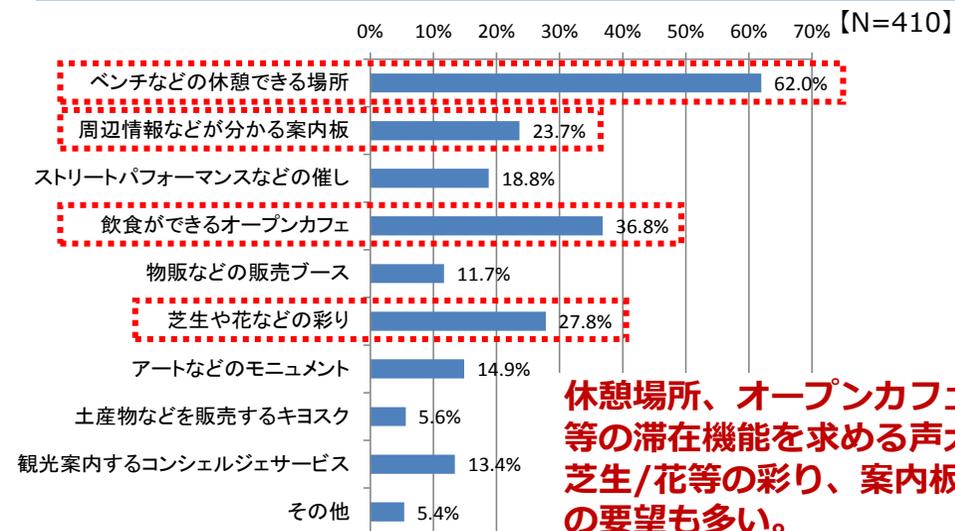
【N=318】



休むことができた
心地よく過ごせた
ことを高く評価

Q5：将来の御堂筋に必要なもの

【N=410】

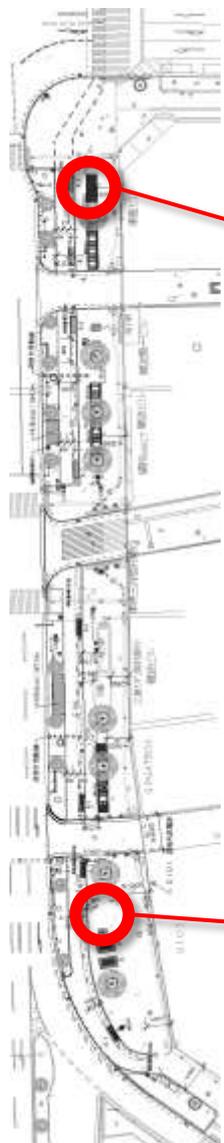


休憩場所、オープンカフェ
等の滞在機能を求める声大。
芝生/花等の彩り、案内板
の要望も多い。

ベンチを置くだけで多様なアクティビティが顕在化 滞留者数、滞留時間が大幅に増加



利用者ニーズ、御堂筋のポテンシャルを実証。インフラ整備が重要。



北側：仮設テント



南側：キッチンカー



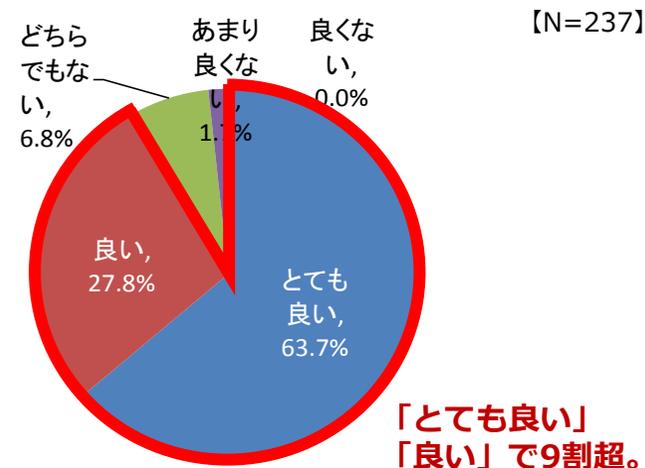
<成果>

- 今回実績は平日3-4万円、休日8-9万円。
- 季節が良ければもっと売れるだろう。
- 潜在的には料飲で3万円、より高単価なフードと合わせ10万円程度は見込める。
- アルコール提供は「なんば広場」での実績もあり認められた。特に苦情やトラブルはなかった。

<今後の課題>

- 電気、水道、排水等のインフラ整備が望まれる。出店者負担が減り出店し易くなる。
- 仮設テントの設置撤去は手間がかかり現実的でない。
- 通行客の足を止めるしかけ（ライブ等）、心地よく滞在できると思えるしつらえ（ベンチ等）が重要。

Q：オープンカフェの評価（利用者）



上質な賑わいの景を創出。店舗レイアウトの検証が必要。



<成果>

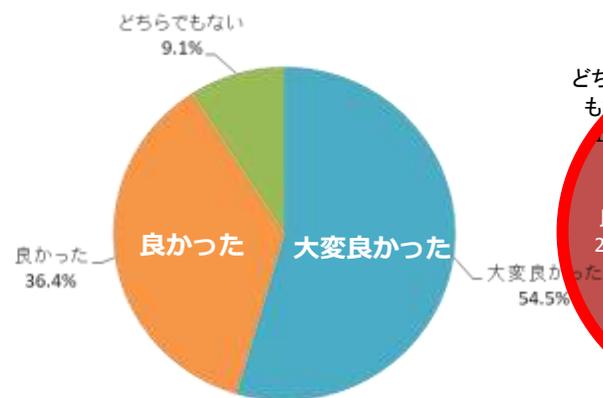
- 芦原橋アップマーケットの協力により、また、出店者の商品・ディスプレイの魅力もあり、イチョウ並木と調和した**上質な賑わいの景を創出**。
- 出店者からは通行客が多く、新たな顧客との出逢いを評価する声が多かった。
- 外国人観光客は足を止める比率が高く、売り上げにつながる例も多い。

<今後の課題>

- イチョウ並木間に設置する場合、東西どちらかに背を向ける形になる。また、店頭のたまり空間がくお客さんが立ち止まりにくかった。
→店舗を南北に向け、店舗間にたまり空間を確保する配置も考えられる。
- 店舗配置を想定のうえベンチ、電源、床アンカー等を設置しておくことが望まれる。常設店舗設置も含めた賑わい創出の工夫が望まれる。

Q1：出店者の評価

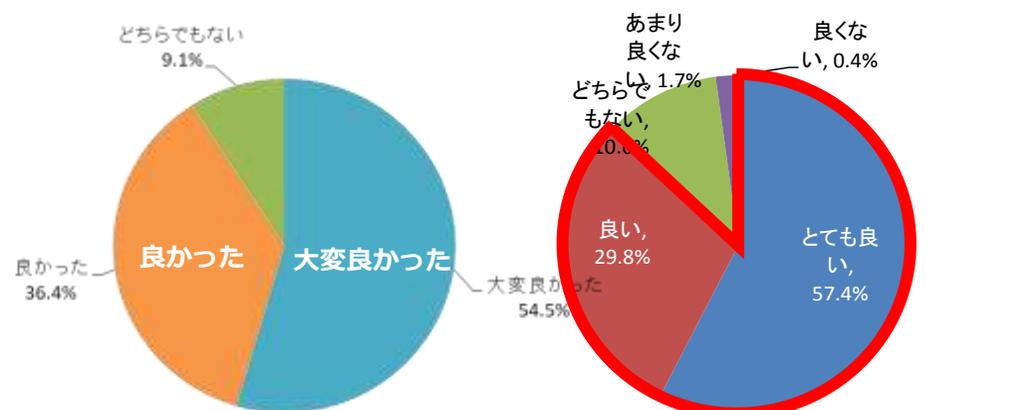
【N=11】



出店者からも高評価

Q2：来街者の評価（利用者）

【N=235】



「とても良い」「良い」で8割超

設置目的

現在、歩道上で無許可で行われているストリートライブは賑わい創出に寄与している側面はあるが、歩行者や自転車の通行障害、騒音等の課題も多い。将来は、透明なルールにもとづいて許可を得たアーティストだけが、ルール（場所、音量等）にもとづきストリートライブを実施できることをめざし、今回は現在うめきた広場で実施されているアーティスト認可のしくみを活用してその課題や効用を検証する。

出演者・運営

出演者：うめきた広場での演奏を許可されているアーティスト
 運営：株式会社マッシュ（統括管理/現場立会）
 協力：株式会社グリーンズコーポレーション/
 一般社団法人グランフロントTMO/FM802/
 NPO法人なにわブルージュー

演奏日時

11/5（日）、11（土）、12（日）、18（土）、19（日）の5日間
 ※11/8は雨天のため中止
 1日4-5組×4日間 延べ18組



ミュージックバスカーinうめきた
演奏風景



現状良くストリートライブ
がよく行われている場所

今回社会実験での
ストリートライブエリア

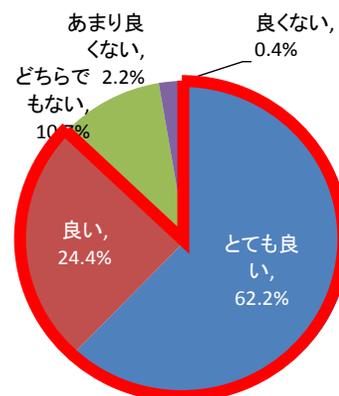


質の高いアーティストが継続的に演奏できるルールづくりが必要



Q: ストリートライブの評価 (利用者)

【N=225】



「とても良い」
「良い」で8割超。

<アーティスト評価>

- 「定期的にやって欲しい」「続けて欲しい」との意見多数
- ストリートならではの魅力
- 人通りが多く、新たな人との出会いがある
- 外国人らの反応も楽しかった
- 公道で堂々と歌えるのは喜び

<成果>

- 滞留者数：20-30名程度。MAX50名
- 投銭収入：数千円程度。MAX20,000円弱
- CD販売：数枚程度。MAX16枚

御堂筋沿道へのシェアサイクルのポート設置の可能性を検証

設置目的

歩道上にシェアサイクルのポートを設置した場合の使い勝手、効果、課題等を検証。シェアサイクル推進の狙いは下記の通り。

- ① 放置自転車対策
所有からシェアへの転換による来街自転車総台数の低減
- ② 環境対策
市内近距離移動は自転車で移動することで車依存を低減
- ③ 回遊促進
ミナミ全体あるいは徒歩では遠い観光地域への回遊促進

設置場所・設置物

場 所：自転車専用道と車道間の空間（下図2ヶ所）
設置物：シェアサイクルのポート、使用法説明看板

管理運営

NPO法人Homedoor
(ラック等設置、自転車提供、自転車監理、事故対応等)



NPO法人Homedoor

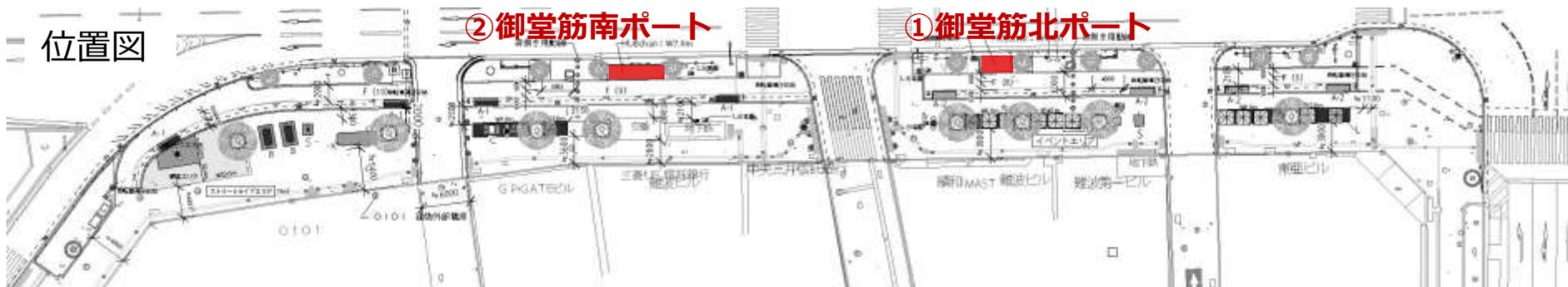
コミュニティサイクル「ハブチャリ」を展開。ハブチャリとはホームレス問題と放置自転車問題を一挙に解決することをめざすコミュニティサイクル。大阪市内8カ所のポートでどこで自転車を借りても返しても良い。



専用自転車、設置ラック



現状ポート位置

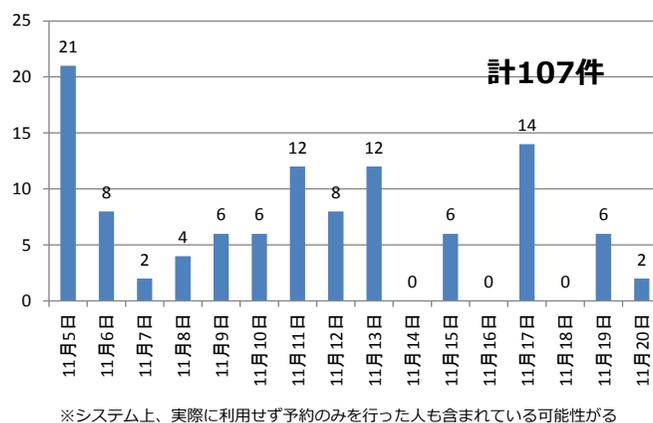
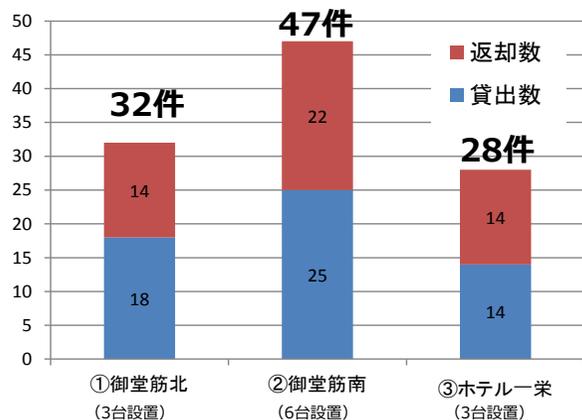


現地2ヶ所のほか、御堂筋に近接して立地する「ホテル一栄」の臨時設置ポートを設置

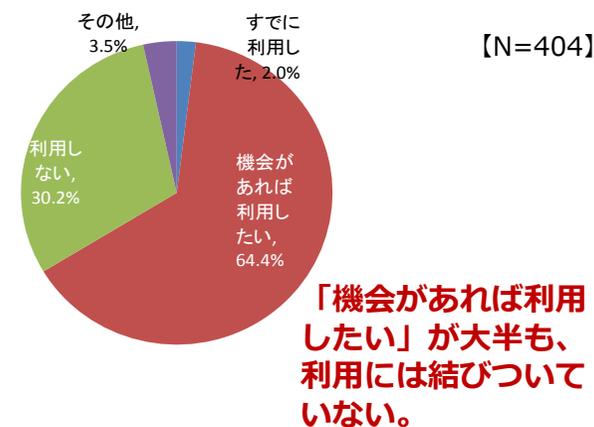
景観・安全面は対応可能。利用促進の鍵はポート数増加。



- 16日間で107件。御堂筋南ポートで47件。（通常ポート利用平均53件/月）
- アメリカ村のポートに行く利用が多く、難波界隈の周遊に利用。
- 景観面、安全面では大きな支障がないことを確認。
- 利用促進の鍵はポート数の増加。



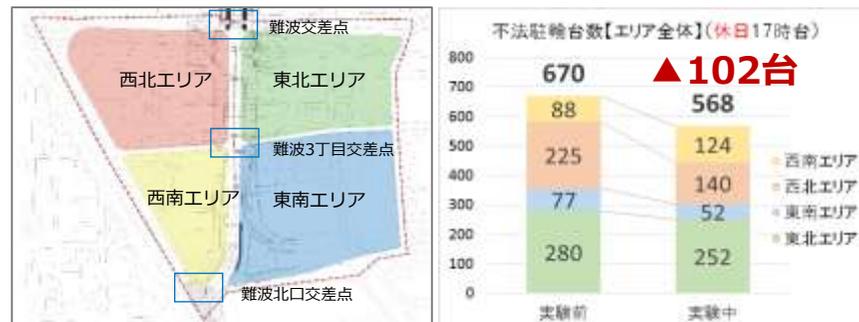
Q：シェアサイクルの評価



路上駐輪台数削減効果の検証

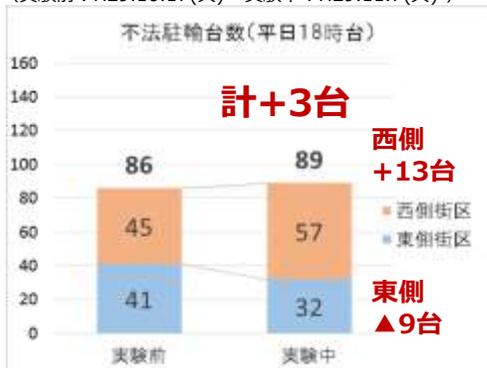
- **ファニチャー等を置くことで東側歩道上は大幅減。** 特に休日の減少が顕著。
- **その分が西側街区や周辺細街路に拡散し、西側は平休とも大幅増。**
トータルでは御堂筋歩道全体としては平日は微増、休日は大幅減。
- 御堂筋沿いだけでなく細街路を含めたエリア全体では100台強減少。
- **面的な対策やシェアサイクル含めた駐輪台数そのものを減らす工夫が必要。**

周辺街区を含めたエリア全体

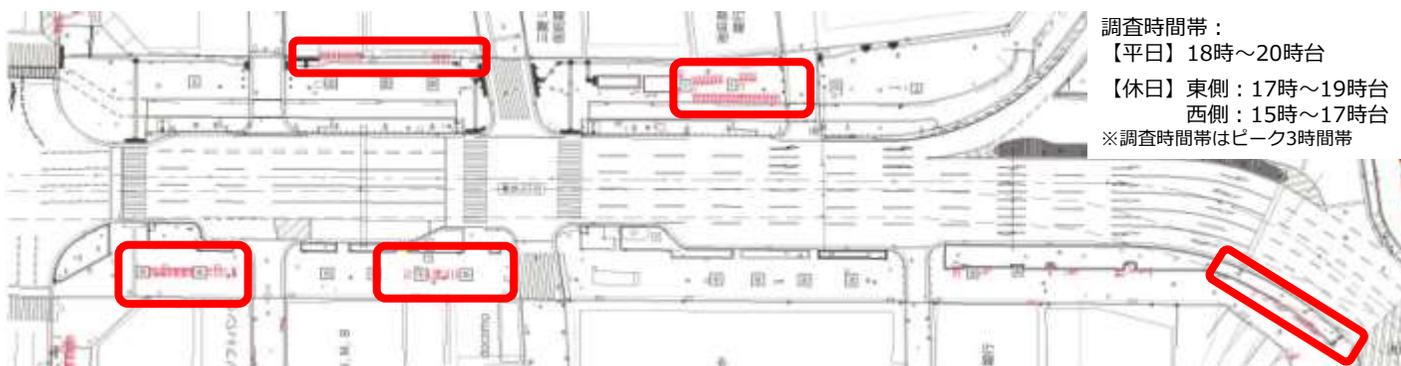


御堂筋沿い【平日】

(実験前: H29.10.17(火) 実験中: H29.11.7(火))



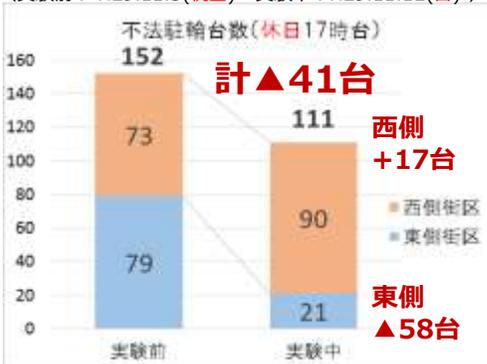
実験前 H29.11.3(祝金)17時台



調査時間帯:
【平日】18時~20時台
【休日】東側: 17時~19時台
西側: 15時~17時台
※調査時間帯はピーク3時間帯

御堂筋沿い【休日】

(実験前: H29.11.3(祝金) 実験中: H29.11.12(日))



実験中 H29.11.12(日)17時台



マネジメント財源としてストリート広告の可能性を検証



実施期間

11月5日-11月20日 毎日07:00~24:00

運営

株式会社ケシオン

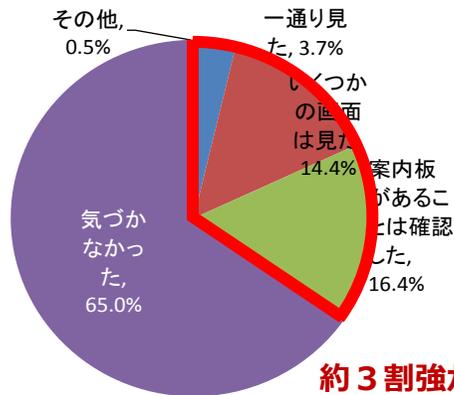
掲示内容

- ①安全等注意喚起 ②御堂筋80周年告知 ③実証実験アナウンス
- ④OSAKA Free Wifi告知 ⑤広告 他

- 案内版の広告は短期間かつ設置数2ヶ所ということで営業的には難しかったが、**場所の評価は高く、面数が増えれば成立性はある。**
- ビーコン機能等によるマーケティングも観光戦略立案に有効なデータを取得できる。
- ファニチャー型スポンサーも一定のPR効果は検証できた。
- 案内板躯体および広告デザインのクオリティを維持することで、景観上の阻害要因とならず、取り組み自体も高評価を得られた。
- デザインや安全面で一定のルールのもとで道路上の広告を認め規制緩和、広告内容審査の手続き緩和の検討が必要。**

Q1: デジタル案内板を確認したか

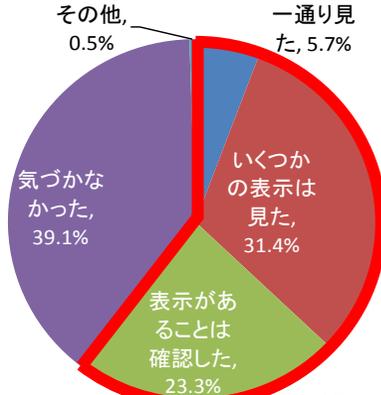
【N=403】



約3割強が認知
(参考: デジタルサイネージの一般的な認知度は3割程度)

Q2: ファニチャーのスポンサー名を確認したか

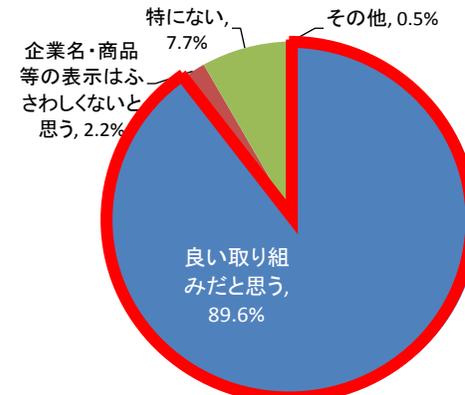
【N=404】



約6割が認知

Q3: 企業名・商品等表示による協賛金をまちづくりで充てる仕組みをどう思うか

【N=402】



高評価で抵抗意見なし



グリーンや花も重要な要素。管理をどうするかが課題。



キッチンカーを置く場合、電源、床荷重、排水場所等の配慮が必要。



ライブは電源が重要。また簡易PAセットを備品で持っておくとしやすさが高まる。置き場所の確保も必要。



- ・移動式ファニチャーは利用形態、設置場所の自由度で有効。
- ・課題は設置撤去の手間と保管場所、いたずら。
- ・歩道の上に置きっ放しにできるならば選択あり。



ゴミ箱を置くと管理が大変。置かないと周辺に迷惑をかける可能性。



実施後には舗装面の特別清掃が必要。汚れがつきにくい、目立たない舗装素材等への配慮が必要。

社会実験結果を道路空間再編へ反映、管理運営の本格検討へ

安全、快適な
道路空間の検証

今回の知見を、平成30年度
実施予定の道頓堀川～千日前
通の社会実験、さらにはモデル
区間整備延伸における設計
与件に反映へ



滞在空間としての
効果の検証

歩道が拡張された部分の滞在
空間としての活用に、今回の
知見を反映
なんば駅前広場とも連続した
滞在空間へ



道路空間の管理運営
の体制・しくみづく
りの検証

今回の成果・課題をもとに、
沿道の関係者で議論を深め、
道路空間再編後の本格的な
マネジメントの確立へ



御堂筋緩速車線歩行者優先化社会実験

御堂筋チャレンジ

主催：御堂筋完成80周年記念事業推進委員会

(大阪市／国土交通省近畿地方整備局／関西経済連合会／関西経済同友会／大阪商工会議所／
大阪観光局／NPO法人御堂筋・長堀21世紀の会／御堂筋まちづくりネットワーク／
ミナミまち育てネットワーク／一般財団法人都市技術センター)

共催：御堂筋沿道・千日前通以南モデル区間整備協議会

(難波三丁目西町会・難波駅前町会商店会、難波四丁目振興町会・南新会、カフェストリート協議会、
ミナミ御堂筋の会、なんば安全安心にぎわいのまちづくり協議会、ミナミまち育てネットワーク)

協力：株式会社カクタス、三和実業株式会社（カフェ英國屋）、一般社団法人リイド、
株式会社マッシュ、株式会社グリーンズコーポレーション、株式会社FM802、
一般社団法人グランフロント大阪TMO、NPO法人なにわブルージー、
NPO法人Homedoor、株式会社ケシオン、株式会社LEM空間工房、株式会社金沢電機、
南海ビルサービス株式会社、なんばマルイ、株式会社池田ビジネス、
ギャガ株式会社、まいどなんば献血ルーム 日本赤十字社 大阪府赤十字血液センター、
株式会社アップフィールド、学校法人 修成学園 修成建設専門学校、
株式会社スポーツタカハシ、光明興業株式会社、平川商事株式会社、株式会社ベルコ、
ホテル一栄、有限会社泉屋
株式会社ナムフォト